

(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員規則(抜粋)

1. 目的

この規則は、(公財)日本水泳連盟が国民の生涯スポーツとしての水泳の普及と発展に努め、水泳指導における事故防止に寄与する基礎水泳指導員に関する基準を定めるとともに、その資質の保持と向上を図ることを目的とする。

2. 基礎水泳指導員の役割

(公財)日本水泳連盟またはその加盟団体、公共団体もしくはその機関等が主催又は主管する水泳事業に協力するとともに、地域スポーツクラブやスポーツ教室等において水泳指導に当たる。

3. 講習及び検定試験

(1)講習科目及び時間数

	科目名	内 容	集合講習	課題学習
学 科	水泳指導者・ 初心者指導法	水泳指導員の役割(指導員制度含む)	1 h	
		指導者とは(体罰、ドーピング、薬物含む)		
		初心者指導法	2 h	
	水泳プールに おける安全	水泳の安全 (水泳プール事故：飛び込み、溺水、吸い込み他)	1 h	
	水泳の科学	水泳・水中運動の特性	1.5 h	
		バイオメカニクス	1.5 h	
	水泳の歴史	水泳の歴史	1 h	1 h
実 技	基礎技術	4泳法	2 h	5 h
		スタート・ターン	1 h	1 h
	指導実習	個人指導(技術観察、技術指導、メニュー立案)	1 h	1 h
		集団指導(指導人数、安全確保、集団に対する技術指導、メニュー立案)	2 h	
		指導法実習	2 h	
合計6科目(学科：4科目 実技：2科目)			16 h	8 h

(2)検定試験の内容と基準 ※学科・実技のすべての科目で合格基準を満たすこと

	科目・種目	基 準
学 科	水泳指導者・初心者指導法	各科目ごとに100点法で評価し、全科目60点以上を合格とする。
	水泳プールにおける安全	
	水泳の科学	
実 技	100m個人メドレー	1. 制限タイム(男子1分40秒、女子1分50秒)以内に泳ぐ。 36歳から1歳につき1秒加算する。 2. 競泳競技規則に違反しないこと。